

# 事業報告書

平成25年度

平成25年4月1日～平成26年3月31日

学校法人 大阪キリスト教学院

理事長 今井 洋

認定こども園 聖愛幼稚園

園長 清水 千鶴

学校法人 大阪キリスト教学院 認定こども園 聖愛幼稚園

2013年度 事業報告書

【2013年4月1日～2014年3月31日】

## 1. 事業報告

### ①法人の概要

○名称：学校法人大阪キリスト教学院 認定こども園 聖愛幼稚園

○住所：大阪市阿倍野区丸山通1丁目3番61号

電話番号 06-6651-8039

FAX 06-6651-8039

ホームページ <http://www.seiai-kindergarten.jp/>

○定員：170名（実員：112名 2014年3月1日現在）

○教職員の状況

園長1名 主任1名 学級担任5名 フリー教諭5名

子育て支援担当教諭2名 職員1名

### ②事業の概要

○本園の教育目的及び方針

キリスト教精神に基づき、幼児期より宗教心を育み命の大切さや感謝の心を育てる保育を行っています。園児ひとりひとりの個性を大切に、幼児が遊びの中で主体性を発揮し、心の通う保育をすすめます。また、集団生活の中で感謝、思いやり、勇気、責任感、探究心、忍耐、協調性などの自主性、社会性の小さな芽を育みます。幼児ひとりひとりが喜びにあふれ、心満たされる園生活の中で健康で心豊かに神と人々に愛され、喜ばれる人として成長できるような保育を目指しています。

○在園児数(2014年3月1日現在)

3歳児：48名(2クラス)	}	合計 112名
満3歳児含む		
4歳児：22名(1クラス)		
5歳児：42名(2クラス)		

○開園時間 月～土 7:30～19:00

○休園日 日曜、祝日、夏季(8月13日～15日)

年末年始(12月29日～1月4日)、創立記念日

○保育時間

月・火・木・金 9:00～14:00

水 9:00～12:00

土 休園

○預かり保育

月～金 早朝保育 7：30～9：00 保育終了後～19：00  
土 7：30～19：00

○保育料及び諸経費

保育料：22,000円  
教育充実費：20,000円(年間)  
おやつ費：700円(8月を除く)  
PTA会費：月1,000円(4月8月を除く)

○入園時費用

入園検定料：5,000円 入園料：50,000円  
用品及び制服代：26,000円

○その他 子育て支援等

2歳児クラス(りす組)・・・毎日コース・月木コース・火金コース  
園庭開放『元気いっぱい広場』・・・毎週水曜日9：30～15：00  
図書室開放『絵本大好き』・・・月1回水曜日9：30～10：30  
子育てサークル『みんなにここにこ』・・・年間12回  
バイブルクラス・・・月1回 水曜日10：30～12：00  
子育て相談室・・・『ふれあい喫茶』月1回 水曜日9：30～12：00  
電話相談 月～金9：30～16：00  
キンダーカウンセラーによる相談 月1回9：30～16：30

○行事の実施状況

4月 入園式・クラス参観・PTA総会  
5月 一日動物園・園外保育・眼科内科検診・クラス懇談  
6月 歯科検診・花の日礼拝・園外保育・親子登園日・プール開き・森の幼稚園活動  
7月 宿泊保育・夕涼み会・森の幼稚園報告会  
8月 プール開放  
9月 祖父母の日・入園説明会・園外保育・森の幼稚園  
10月 運動会・教会学校出席・いもほり・みかん狩り・2歳児クラス説明会  
11月 親子遠足・観劇・新入園児面接・収穫感謝祭・森の幼稚園  
12月 クリスマス・PTAクリスマス・未就園児クリスマス  
1月 もちつき・園外保育・森の幼稚園  
2月 お別れ遠足・雪遊び・一日入園・森の幼稚園  
3月 お別れ会・卒園式・終了式・森の幼稚園

## 2. 学校評価

平成 26 年 8 月作成 聖愛幼稚園

### 1. 本園の教育目標

教育基本法、学校教育法および幼稚園教育要領に従い、キリスト教の精神に基づいて保育し、子ども一人ひとりが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造性を豊に、心身ともに健やかに育つことを目標としている。

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

新幼稚園教育要領や教育課程の内容を全教職員が確認し共通理解を図ることによって教育の質を高め、さらには保護者のニーズをも確認して園の存在価値や独自性をより高めることに努める。

### 3. 点検・評価項目<抜粋>の達成および取り組み状況

点検・評価項目	取り組み状況
建学の理念や幼稚園教育要領に沿って園の教育理念、教育目標を定め教育課程を作成している。	建学の理念・教育理念は、園長が中心となり教職員に周知している。多くの教職員が研修や研究会に参加し、教職員間で学びや確認の時を持ち、機会のあるたびに話題に上げて理解を深めるよう努めている。
教育課程は子どもの発達の状況や実態などをもとに作成している。	園の教育理念や教育方針をより深く理解しながら、一人ひとりの子どもをありのままに受け止め、子どもの様子や成長に合わせ、実態に即した教育課程を作成している。
子どもの実態を的確につかみ具体的な手立てを講じながら日々子どもに対応している。	登園から降園までの一日の流れのなかで一人ひとりの子どもの動きを通して、心身の健康状態をはじめ子どものパーソナリティーや長所等を理解して、保育の場に生かせるよう努めている。長時間保育児に関しては、特に家庭的な雰囲気落ち着いて生活できるように配慮している。
遊びを通して工夫したり協力したりするなど創造性や社会性が育っている。	遊びの発展や様々な子どもの活動に合わせて、遊びの広がりや深まりが持てるよう配慮している。手作り遊具や豊富な教材のある施設環境、さらに「森の幼稚園活動」など自然に接する機会も積極的に持っている。また、異年齢児との交流も多く持つように配慮している。

<p>子育て支援をはじめ地域とのかかわりを積極的に計画し実施している。</p>	<p>地域への支援は現在幼稚園の重要な役割となっており、園庭開放や子育てサークル、教育相談、キンダーカウンセリングなど積極的に取り組んでいる。また、近くの小学校との交流も行っている。幼小連携を強めるために今後も積極的に取り組みへの工夫を重ねていきたい。</p> <p>また、認定こども園として、せいあい保育園の保育士とも協力しながら地域交流の機会を多く持ち、地域の子育て支援の中心となるように努力している。</p>
<p>教職員が研究会や研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努めている。</p>	<p>研究会や研修会に参加し新しい情報や刺激を得ることは、常に質の高い教育の実践を続けていくためには欠かすことはできない。雑務や毎日の仕事に追われて研修の時間が取れない時もあるが、今後ともその機会を大切にしていきたい。研修で学んだことは教師会等で発表し合い、教師間で共有している。</p>
<p>安全管理や防災活動に定期的に取り組んでいる</p>	<p>火災や地震等の災害に対しては防災意識を高めるために定期的に訓練を実施し、マニュアル等を作成して防火、防災管理に努めている。外部からの侵入等に対するチェックなどの安全管理についても監視体制は整っている。園内にAEDを設置し、教職員は救命講習を受講している。また、短期大学と月1回委員会をもち、安全管理・防災活動を行っている。</p>
<p>保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切な対応を図っている。</p>	<p>園児の登降園時や個人懇談等で子どもの様子を伝えたり話し合う機会を設けている。子どもの育ちにとって保護者と園との連携は欠かすことはできない。玄関に意見箱を設置し、保護者側の要望や園に対する意見はしっかり受け止めるよう努めている。</p>

#### 4. 学校（幼稚園）自己点検・評価の具体的な目標、計画の総合的な評価結果

教師一人ひとりが学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検・評価に取り組んだ様子が見られた。今後も幼稚園の社会に対する役割の変化をも踏まえながら、客観的な目で自らの保育・教育を振り返り、さらに充実した実践ができるように教職員が力を出し合い努力していきたい。

## 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
施設環境	園内の環境においては保健・衛生、設備、施設の点検等、さらなる環境整備に努め、園児が安全に、安心して生活し、遊ぶことのできる快適な環境になるよう努める。
情報公開の方法	現在、園便り、ポスター掲示、ホームページ等を通して行っているが、さらに地域、一般にもわかりやすいホームページの充実、作成に努める。
自己点検・評価	今後とも教職員一人ひとりが、専門性を高めるためにより高い目標を課題に挙げて取り組むとともに、さらに園の運営の在り方や今後のあるべき方向についても協議し検討を重ねていく。
指導計画の編成	指導計画の作成のため、現在の各クラス作成の教育課程についてさらに十分な討議をして共通理解を深め、見直すところは見直し、幼稚園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画の作成に取り組めるよう努める。

6. 学校関係者の評価

評価年月日 平成26年9月7日

評価者（保護者：5歳児3名 4歳児2名 3歳児2名）

評価項目（抜粋）	評価
1. 教育（保育）内容や教育方法に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの個性を大切にして、遊びを通し身の回りすべての事に対しての様々な興味や好奇心を持たせるような教育をしていると思います。</li> <li>・園長先生はじめ先生方皆さんで子ども達の様子を共有し合って一丸となって接して下さっている。今だけではなく将来を見据えて生きる力の基礎、強さを育てて下さっていると感じている。</li> <li>・子どもの成長に合わせて保育内容や計画を立て実施されています。</li> <li>・園の教育理念や方針を基盤に教育されている。</li> <li>・子どもの思いに耳を傾けて下さり、とても大切に思っている。カリキュラムをこなす日々ではなく、農作物を育てたり、山への遠足に行ったり等、貴重な経験をさせてもらっている。</li> <li>・季節や行事を大切に、異年齢の幼児が交流し、成長できるよう保育にあたっていただきたい。</li> <li>・園の教育理念である個々の自主性・考える力は幼児にとってはすごく大切な事であり子どもも成長をより高めるものと理解している。</li> </ul>
2. 教育の在り方、幼児への対応に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の知りたいこと、やりたいことを数多く経験できるような保育をして下さり、園児の目線に立ち注意深く見守って下さるので、とても安心して預ける事ができます。</li> <li>・先生方が自身に厳しく学び続けておられ、日々様々な個性の子ども達と向き合い悩み進まれている。その努力がああ愛情深い接し方にあらわれていると思います。自分のクラスの子供達だけでなく他のクラスの子供達との関わりも心掛けて下さっている。叱らなければいけない時は冷静にはっきりと子供目線で言葉をえらんで伝えて下さっている。私自身勉強になっています。</li> <li>・子どもの意志を尊重し、一人ひとりに対して愛をもって接してくれています。</li> <li>・一人ひとりとの関わりを大事にしておられ遊びの中で適切な保育がなされている。</li> <li>・常に子ども一人ひとりの事を心から思い、子どもの考えや気持ちに寄り添って頂いている。日々、大切に保育をして頂いて、子どもがのびのびと過ごさせてもらっていると感じている。</li> <li>・毎日幼児一人ひとりに対してしっかり観察し、普段と違うところがあれば迅速に適切に対応してくれている。</li> <li>・たくさんの園児がいる中で大変だとは思いますが親の意志ではなく園</li> </ul>

	<p>児一人ひとりの意見を聞いてあげる事が大切だと感じる。</p>
<p>3. 教師の資質、適性や研修に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベテランの先生方も多く、一人ひとりの子どもの特徴をよく理解してくださり、工夫して様々な視点をもって子ども達に接していただいていると思います。優しい雰囲気先生方ばかりです。</li> <li>・ベテランの先生であっても常に向上心を持ち続け、子ども達の成長を見てそれを喜びとし日々努力されている。先生方への不満はありません。保護者として学ぶべき所がたくさんあると思います。</li> <li>・先生方のスキル向上の意識が高く、研修等に積極的に参加されています。</li> <li>・向上心があり、日々研究し努力されている。</li> <li>・日々、子ども達の事を思って努力され、常に向上心を持っている姿、子どもへの接し方、言い方、表情など、子どもと接している保護者として見習う所がいっぱいあり勉強になる。</li> <li>・専門的な知識や技術だけでなく、身のまわりの様々なことにアンテナをはって視野を広げていただきたい。</li> <li>・教育の研修に終わりはないと思うので今後も継続していただきたい。子どもと喜びを共感する為には保護者自身も、向上する気持ちが必要だと感じる。</li> </ul>
<p>4. 地域との関わりに関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の日礼拝、園外に出かける事により、色々な立場の人と触れ合え、挨拶など目に見える成長も感じられます。</li> <li>・中学生の職業体験受け入れ、老人福祉施設への訪問、花の日礼拝でご近所にお花を配りに行く、家庭でとはまた違う関わり方ができる機会だと思う。</li> <li>・子育て支援、子育てサークルを実施し、花の日礼拝や収穫感謝祭で地域への感謝の気持ちを表しておられます。</li> <li>・地域の方々との連携も行事や子育て支援を通じて関わっており充実しているが、今後就学することもみすえ小学校との交流を増やしてほしい。</li> <li>・園庭開放、子育てサークル等は、子ども達の交流だけではなく、さまざまな世代の子を持つ親たちの情報交換の場になるので続けてほしい。</li> <li>・花の日礼拝や収穫感謝祭、小学校との交流、子育てサークルなど地域の人々に関わる機会が数多くあった。</li> <li>・地域との関わりが多いほど園児の成長につながると思うので今後も継続、発展を心がけていただきたい。</li> </ul>
<p>5. 保護者への対応に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園時などの日々のコミュニケーションを大切にして頂き、子どもの様子等気軽に話し合えて、どの先生方でも相談がしやすい環境であ</li> </ul>



	<p>ると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の様子、出来事を何か1つでもあれば伝えるようにして下さっている。こちらからの質問・疑問・心配事についてももしっかり聞いて受け止めて答えて頂いていると思っています。</li> <li>・子どもの様子をよく見ている。懇談の時や降園時によく話しをしてくれます。園の便りでは、つぶやき覧を作り園児の様子を記載しています。</li> <li>・保護者への対応は1人ひとりにあった対応をされている。園での様子を知る機会がなかなかないので園便りで発信して欲しい。</li> <li>・親しみやすい雰囲気を作って下さりとても話しやすい。登降園時のお迎えの際、担任の先生と直接お話できる機会があるので助かる。</li> <li>・登降園時など担任や担任以外の保育者から随時幼児の様子を伝え聞くことができた。</li> <li>・園児すべての保護者への対応は大変だと思いますが、良く対応していただいていると思います。</li> </ul>
<p>6. 安全管理等に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短大の敷地内にあり、守衛さんが常時いらっしゃるので侵入者、来訪者への安全対策がしっかりしているので、安心である。</li> <li>・守衛さんが常時いて下さるのは安心です。PM2.5の数値に対する対応など教えて頂けるとうれしい。</li> <li>・定期的に防災訓練を実施し、普段からも危険なことはしっかりと伝えてくれています。</li> <li>・守衛室や防犯カメラ又、区役所の職員の方に見守られ安全管理は徹底されているので安心である。</li> <li>・守衛室もあり安全対策は万全であると思う。教室等の衛生管理も行き届いていると感じている。</li> <li>・定期的におもちゃや遊具の安全点検の実施を求める。</li> <li>・園の安全管理には安心しております。今後も時代に合わせた安全管理を心がけていただければと思います。</li> </ul>
<p>7. 遊具、教材、設備等、園内環境に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭の遊具など手入れされていて、園内も子ども達が動き回れる十分な広さがあり、清潔であると思います。</li> <li>・お花、植物が増えて中庭の菜園がとても充実していて子ども達にはいい経験になりとても楽しみだと思う。園庭の自転車等乗り物の点検を増やしてほしい。園庭開放時に自転車に乗ることはいいのか悪いのか決めて子ども達に伝え保護者にも教えて頂いていると安心です。</li> <li>・園庭の広さ、遊具の充実により身体を使った遊びがのびのびできていると思います。</li> <li>・子ども達が興味をもちのびのびと育っていく環境が整っている。園内の畑や園庭で四季を感じる事ができている点はよい。</li> <li>・畑での野菜などの栽培は、育っていく過程を見ていた物を収穫してい</li> </ul>

ただくという体験は一家庭では難しくすばらしいことをさせてもらっている。

- ・保育室や園庭におもちゃや遊具が多すぎる。使用するおもちゃや遊具を厳選し、遊びを自ら生み出す工夫を求める。
- ・特に問題はないと思います。日々園児が楽しく遊べる様に安全管理を継続していただく様お願い致します。

## 7. 財務状況

公認会計士より、適正に処理されているとの報告を受けている。なお今年度は園の財務状況に関して積極的に公開をいたしました。

この公表シートは財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構、私立幼稚園版「学校評価ガイド」にある様式（項目）を使用した

幼稚園名：聖愛幼稚園

資金収支内訳表

平成25年4月 1日から  
平成26年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科 目	決 算
学生生徒等納付金収入	21,701,100
手数料収入	325,000
寄付金収入	40,800
補助金収入	43,387,100
大阪府補助金収入	33,195,000
大阪市補助金収入	10,192,100
事業収入	5,970,040
雑収入	14,386,721
収入の部合計	85,810,761

消費収支内訳表

平成25年4月 1日から  
平成26年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科 目	決 算
学生生徒等納付金	21,701,100
手数料	325,000
寄付金	40,800
補助金	43,387,100
大阪府補助金	33,195,000
大阪市補助金	10,192,100
事業収入	5,969,080
雑収入	807,723
帰属収入の合計	72,230,803
基本金組入額	△ △177,975
消費収入の部合計	72,408,778

支出の部

(単位 円)

科 目	決 算
人件費支出	60,538,849
教育研究経費支出	12,407,173
管理経費支出	815,138
支出の部合計	73,761,160

支出の部

(単位 円)

科 目	決 算
人件費	46,959,851
教育研究経費	16,788,487
管理経費	851,094
消費支出の部合計	64,599,432

## 資金収支計算書

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	614,900,000	615,366,800	△ 466,800
手数料収入	8,100,000	8,238,000	△ 138,000
寄付金収入	3,200,000	2,465,964	734,036
補助金収入	254,000,000	247,102,880	6,897,120
国庫補助金収入	116,400,000	109,771,000	6,629,000
大阪府補助金収入	48,150,000	49,860,000	△ 1,710,000
大阪市補助金収入	89,450,000	87,471,880	1,978,120
資産運用収入	10,100,000	10,201,834	△ 101,834
資産売却収入	0	368	△ 368
事業収入	16,900,000	25,992,438	△ 9,092,438
雑収入	6,300,000	21,068,622	△ 14,768,622
前受金収入	374,200,000	295,049,500	79,150,500
その他の収入	660,100,000	660,357,252	△ 257,252
資金収入調整勘定	△ 319,100,000	△ 390,948,194	71,848,194
前年度繰越支払資金	1,133,600,000	1,133,607,362	△ 7,362
収入の部合計	2,762,300,000	2,628,502,826	133,797,174
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	544,200,000	557,088,281	△ 12,888,281
教育研究経費支出	158,000,000	165,050,995	△ 7,050,995
管理経費支出	81,600,000	79,671,336	1,928,664
施設関係支出	238,800,000	200,739,455	38,060,545
設備関係支出	24,200,000	29,227,007	△ 5,027,007
資産運用支出	600,000,000	600,000,000	0
その他の支出	22,900,000	24,455,920	△ 1,555,920
〔予備費〕	10,000,000	0	10,000,000
資金支出調整勘定	△ 300,000	△ 43,929,405	43,629,405
次年度繰越支払資金	1,082,900,000	1,016,199,237	66,700,763
支出の部合計	2,762,300,000	2,628,502,826	133,797,174

## 消費収支計算書

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	614,900,000	615,366,800	△ 466,800
手数料	8,100,000	8,238,000	△ 138,000
寄付金	3,200,000	3,001,621	198,379
補助金	254,000,000	247,102,880	6,897,120
国庫補助金	116,400,000	109,771,000	6,629,000
大阪府補助金	48,150,000	49,860,000	△ 1,710,000
大阪市補助金	89,450,000	87,471,880	1,978,120
資産運用収入	10,100,000	10,201,834	△ 101,834
事業収入	16,900,000	24,940,338	△ 8,040,338
雑収入	24,000,000	25,591,456	△ 1,591,456
帰属収入合計	931,200,000	934,442,929	△ 3,242,929
基本金組入額合計	△ 238,900,000	△ 185,698,385	△ 53,201,615
消費収入の部合計	692,300,000	748,744,544	△ 56,444,544
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	539,600,000	538,845,683	754,317
教育研究経費	218,800,000	222,167,595	△ 3,367,595
管理経費	92,200,000	95,477,926	△ 3,277,926
資産処分差額	7,500,000	5,091,125	2,408,875
〔予備費〕	10,000,000	0	10,000,000
消費支出の部合計	868,100,000	861,582,329	6,517,671
当年度消費支出超過額	△ 175,800,000	△ 112,837,785	
前年度繰越消費支出超過額	△ 127,500,000	△ 127,540,353	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 303,300,000	△ 240,378,138	

## 貸借対照表

平成26年3月31日

&lt;総括表&gt;

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,786,710,100	3,634,216,864	152,493,236
有形固定資産	2,643,418,660	2,490,925,424	152,493,236
その他の固定資産	1,143,291,440	1,143,291,440	0
流動資産	1,093,918,942	1,200,843,659	△ 106,924,717
資産の部合計	4,880,629,042	4,835,060,523	45,568,519
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	324,926,050	347,691,482	△ 22,765,432
流動負債	347,044,741	351,571,390	△ 4,526,649
負債の部合計	671,970,791	699,262,872	△ 27,292,081
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	4,174,036,389	3,988,338,004	185,698,385
第2号基本金	200,000,000	200,000,000	0
第4号基本金	75,000,000	75,000,000	0
基本金の部合計	4,449,036,389	4,263,338,004	185,698,385
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 240,378,138	△ 127,540,353	△ 112,837,785
消費収支差額の部合計	△ 240,378,138	△ 127,540,353	△ 112,837,785
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、 基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,880,629,042	4,835,060,523	45,568,519

財 産 目 録

(平成26年3月31日現在)

科 目	金 額
一 資産額	
(一) 基本財産	2,843,495,100 円
1 土地 (団地)	
校地	31,414 m <sup>2</sup> 596,481,453 円
2 建物	
(1) 校舎	15,606 m <sup>2</sup> 1,632,594,264 円
(2) 構築物	29,647,921 円
3 図書	112,908 冊      275,359,019 円
4 教具・校具・備品	12,983 点      109,336,003 円
5 電話加入権	76,440 円
6 総合学舎建設引当特定資産	200,000,000 円
(二) 運用財産	2,037,133,942 円
1 預金、現金	1,016,199,237 円
2 特定引当資産	943,000,000 円
3 有価証券他	77,934,705 円
合 計	4,880,629,042 円
二 負債額	671,970,791 円
1 固定負債	324,926,050 円
(1) 退職引当金	324,926,050 円
2 流動負債	347,044,741 円
(1) 前受金	295,049,500 円
(2) 未払金	43,691,349 円
(3) 預り金	8,303,892 円
正味財産	4,208,658,251 円

平成26年5月12日

学校法人大阪キリスト教学院  
理事会 御中

監事 野村 恭三



監事 山本 榮三



### 監査報告書

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人大阪キリスト教学院寄附行為第17条に基づき、学校法人大阪キリスト教学院の平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日）の学校法人の業務及び財産の状況について監査を行いました。

私たちは学校法人大阪キリスト教学院監事監査規程に準拠し、理事会に出席し業務の報告を聴取し、監査を行うに当たっては重要な決済書類等を閲覧すると共に大阪キリスト教学院が監査を委託する公認会計士（大西仁幸氏及び横井俊幸氏）から私立学校振興助成法に基づく監査の状況について説明を聴取するなど、本校の業務及び財産の状況について意見を述べるにあたり必要と認めた監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務及び財産に関し、不正行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重要な事実はないものと認めます。

以上